

10,000人のボランティアと ともに15年。

■毎月第3水曜" 19:00～21:00
※10月から毎月第3火曜日に変更
■①7/28, ②9/15, ③10/12, ④11/16, ⑤1/18, ⑥2/15
主催：とちぎボラ・ティアネットワーク「災害ボラ・ティアオールとちぎ」

災害ボランティア・月イチ夜間・自主講座 （V飯付き）

阪神・淡路大震災から現在まで
Vネットと共に活動した
ボランティアはのべ10,019人。
災害ボランティアセンター、
ボランティアバス、
災害ボラのワークキャンプ方式など、
全国初の実績も多数の災害救援NGO [とちぎVネット] が贈る
ホンモノの災害V講座。
お仲間募集の機会です。
夕飯（V飯⇒200円）食べながらのサロンです。



◆第2回 9/15 夜7時から・Vネット事務所

【緊急救援】Vネットが生み出したもの①

「災害ボランティアセンターとその功罪」

講師：津田博之（那須町社会福祉協議会）

- ◎災害ボランティアセンターの意味、役割（なぜそれが必要だったのか）
- ◎災害VCの普及とその課題（マニュアル＝形式的普及による意味の不伝達）
- ◎官と民の協働はどこが可能でどこが不可能か



200円にぎって来れば 飯食える！！

- 参加費用：V飯代200円＋寄付（お気持ちで）
- 来る人は事前にお電話を。V飯の人数把握のため

電話 028-622-0021 へ

（以下予定）

◆3回【10/12(火) 緊急救援】Vネットが生み出したもの・その②「救援ボランティアを組織する手法—ボラ・バス&災害ボラのワークキャンプ」

昨日まで他人だった一般公募のボランティアが協力して現地で活動するワークキャンプ方式を阪神淡路大震災から実施してきた。そのグループワークやボランティア・コーディネーションについて。日本初のボランティア・バスの運行も、とちぎVネットが実施。2か月で1500人のボランティアを送り出す秘訣や資金調達、マスコミ戦略などの企画力も伝授。

◆4回【11/16(火) 緊急救援】「被災地のニーズとは何か」

一片付けてほしい—の背後にある本当の気持ちとは？

◆5回【1/18(火) 今後の災害のために】「避難所・避難生活で何が
できるか」。

◆6回【2/15(火) 復興支援】「仕事と家をどう作る」

（ほかに検討中）

◆地域福祉と災害弱者 ◆水害VCのつくりかた演習 ◆ボラ・ティア・プログラムの作り方 ◆救援活動の展開と資金調達 ◆復旧・復興制度とお金の課題



◆第1回 7/28 総論「災害ボラの15年・とちぎVネットの救援活動・成果と課題」講師：矢野正広